

平成30年度 学校教育目標の達成に向けた具体的実践事項 大津町立大津小学校

努力目標	実践事項	具体的実践事項 (学年・学級経営案において具体的・数的目標化)
かしこい子 (確かな学力)	◎「「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	1 熊本型授業の質の向上 (見通しを持った主体的な学びの実現と協働的な学習づくり) 2 学習したことの成果や意義が実感できる評価の工夫 3 ゆうチャレンジ及び単元別評価問題の活用 (個別の課題への対策の徹底)
	○基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得	1 学級及び児童一人一人の学習課題の具体的な把握 2 スキルアップ学習の強化 (課題を踏まえた効果的・系統的な学習の工夫) 3 家庭学習の習慣化(「家庭学習の手引き」の活用)
	○読書活動の充実	1 読書目標の設定等による日常的な読書活動の推進 2 学校図書館の「学習センター」としての機能強化 (教科指導と読書活動の関連づけ)
	○確かなコミュニケーション能力の育成	1 学年に応じた話し方・聞き方指導の徹底 (「思考のことば」の活用) 2 学年の発達段階に応じたNIEの推進 (論理的表現力の育成に向けた計画的・継続的取組)
清く・正しい子 (豊かな心)	○人権教育の充実	1 人権尊重の精神がみなぎる環境と人間関係づくり (笑顔あふれる子どもの居場所づくりといじめの未然防止) 2 人権に対する知的理解と差別を見抜き・なくす態度の育成 (くらしを見つめ・綴り・伝え合う活動の充実)
	◎道徳教育の充実	1 「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえた指導方法の改善と評価の工夫 (「考える道徳」「議論する道徳」への質的転換) 2 「熊本の心」「つなぐ～熊本の明日～」の計画的な活用及び日常生活における道徳的実践力を高める工夫
	○特別支援教育の充実	1 特性や発達段階に応じた効果的な支援の工夫 (自立活動等の個別の支援計画の作成と活用) 2 教員の専門性の向上と保護者や関係機関との連携の工夫
	○積極的な生徒指導と教育環境の整備	1 基本的な生活態度の定着に向けた徹底指導の継続 2 「気づき・考え・行動する」児童の育成と児童の良さを引き出す日常活動の工夫 3 児童が学習したくなる教育環境の整備
たくましい子 (健やかな体)	○保健教育の推進	1 基本的生活習慣に係る実態把握と系統的指導の充実 2 健康の保持増進のについて主体的に考え行動する児童の育成児童と う歯治療率向上 3 熊本地震に係る児童の心のケアの充実
	◎体力の向上	1 実態分析を生かした授業改善 (体育指導の手引き・体力向上ハンドブックの活用) 2 運動に親しみながら、子どもが自らが運動能力面での課題を克服する活動の工夫
	○安全・防災教育の充実	1 校内で互いに安心・安全に生活する態度の育成 2 発達段階に応じた交通事故防止、防犯、防災教育の充実 (危険予測・回避能力の育成と命を守り抜く防災対応能力の育成) 3 熊本地震を教訓に、地域と連携した防災体制の強化
	○食に関する指導の充実	1 給食の時間等を通した計画的・系統的な食育指導 2 給食指導の充実(残食、マナー等) 3 栄養教諭等を活用した食育指導の工夫
地域等との連携	◎地域との積極的・効果的な連携	1 学校運営協議会「熊本版コミュニティスクール」の活性化 (学校・地域の双方向の情報交流の工夫) 2 学校応援団(ボランティア)を生かした教育活動の充実
	○幼保・小中との連携	1 連携カリキュラムに基づく共通実践と教育内容の交流 2 日常的な情報交換・連携の工夫

